

令和4年6月21日

組合員 各位

あいら農業協同組合
代表理事組合長 中條秀二

お詫び

梅雨の候、組合員の皆様には、農繁期を向かえご多忙のことと存じます。また、当JA事業に対しましてかねてより格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度販売いたしました水稻苗につきまして、カビの発生など一部不良苗が発生しております。

組合員・利用者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、改めて心よりお詫び申し上げます。

広報誌にも掲載しておりますが、不良苗につきましては、すべて無償にて返品、交換させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。

現在、徹底して原因究明を行うとともに、全ての製造工程を精査しております。

次年度以降は、組合員・利用者の皆様に満足いただける水稻苗の製造に取り組んで参りますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、現時点で判明している状況等については、別紙の通りです。

不良苗発生状況ならびに製造工程での不備内容は以下のとおりです。

1. 不良苗の発生状況

- ① 120,298箱製造した内、芽出し苗で約600箱にカビの発生が確認されています。(昨年は112,965箱製造した内、芽出し苗で約1,000箱)
- ② 根張り不足の苗について、6月20日現在32名の組合員・利用者様より176箱の報告がありました。

2. 製造工程における不備内容

- ① 水稻稚育育苗管理に基づく、育苗箱消毒ならびに種子の塩水選処理が未実施でした。
- ② 作業場床に落ちた培土の再利用がありました。
- ③ 殺菌剤の散布において、一部不均一な散布や攪拌不足がありました。

3. 再発防止策について

水稻育苗については、あいら共同㈱に製造委託しておりますが、製造についてはあいら農協と一体的に行っております。しかしながら、JA指導員による指導不足、また連携不足があるなど管理体制の不十分さを痛感しております。

つきましては、引き続き徹底して原因究明を行うとともに、全ての製造工程を再度精査し見直しを図ってまいります。

今後このようなことが発生しないよう、製造マニュアルの再構築と製造中の管理体制、再発防止策の徹底に取り組んで参ります。

あわせて、今後の育苗事業の在り方を検討するため、今年度購入いただいた全ての組合員・利用者様へアンケートを取らせていただき、次年度以降の業務改善に努めて参りたいと考えております。その際はご協力をお願いいたします。